

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長

報告者 氏名 新田 真一

下記の通り、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者 新田 真一

経理担当者 新田 真一

期 間	2025年 10月27日（月）～10月28日（火）
用 務 先	山口美祢市 教育委員会 山口県周南市 教育委員会
用 務	中学校 部活動の地域移行・展開についての取り組みについて
概要及び所見	27日（月） 美祢市教育委員会 美祢市は人口2万人 中学校は5校 中学校の土日の部活動は、令和7年度で完全移行している。指導は競技連盟・地域住民から、またクラブの顧問も兼業届により参加しているものもいる。 中学は1校が中規模（生徒数の約半数）そのほかは小規模中学になる。市内の中学校や体育施設等を会場に、スポーツ競技による拠点方式で市内の中学生が参加するスポーツごとに各学校からスクールバスで送迎される。 三次市に近い状況ではないかと思ったが、クラブにより拠点方式した場合に、スクールバスによる送迎が実施可能なのかが課題となるだろう。市の広さは美祢市が本市の約半分 クラブもスポーツ9・文科系1と少ない。 28日 周南市教育委員会 周南市の人口は13万人 中学は13校 生徒数は約3300人 周南市地域クラブを文化振興会・スポーツ協会を事務局として立ちあげている。ここで ・登録団体の活動 スポーツ少年団・競技団体・クラブ・スポーツ推進

	委員協議会 文化芸術団体・高校・大学他で、文化芸術関係が48団体 スポーツ関係 69団体が登録されている。 活動日・場所経費指導者報酬すべて団体が設定し、参加者は原則自己負担となる。 ・サポートセンターの活動 登録団体以外の講座・教室の開催 ・しゅうなんコミュニティクラブの活動 中学校区を単位に、放課後に生徒があつまり、計画を作り地域の中で活動するクラブ こうした活動が行われている。令和8年度には、中学校からクラブは完全になくなる。 しゅうなんコミュニティクラブは、実証実験中ではあるが、大学生や地域住民などの参加を得て、生徒がしたいことを考え計画を立て実施するものである。地域との交流の機会も生まれ生徒の自主性を育てる狙いもある。 両^り氏の教育委員会の視察から、中学校の日常放課後の部活動をどう支えていくかの発想から、部活動指導員や地域住民などによる指導者確保の課題を考えていたが、地域移行はやはり、学校教育からは明確に切り離して、地域競技団体の主導により活動しやすい日・時間・場所を考えていくことを再認識した。
--	---

視察報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者名 竹田 恵

次のとおり、視察が終了したので報告します。

視察議員	会派未来 ・新田真一議員・竹田恵議員
期 間	2025 年 10 月 27 日（月）から 2025 年 10 月 28 日（火）
視察先	①10 月 27 日：山口県美祢市議会 ②10 月 28 日：山口県周南市議会
視察用務	①美祢市地域クラブ活動に関する推進指針 ②部活動地域展開に係る周南市の取組
視察先対応者	①美祢市議会 [redacted] 議長・[redacted] 教育委員会局長ほか ②周南市議会 [redacted] 議会事務局次長・[redacted] 学校教育課主幹ほか
概要及び 所見	1. 美祢市 ①2025 年度から休日においては地域移行が完了した。 2027 年度から平日においても地域移行できるよう取組 を進めている。市内全中学生の 8 割近くが所属してい る。 ②部活動の基本は、平日 2 時間・2 日/週、休日 3 時間・ 1 日/週としている。 ③保護者負担の軽減のため、スクールバスを活用し、活 動場所へ送迎を行っている。 ④地域指導者、部活顧問、教育委員会の三者による意見 交換会を実施している。 ⑤指導者の謝礼は、1,413 円/H、旅費は 37 円/kmとしてい る。 2. 周南市 ①周南市の地域クラブに係る方針として、中学生のア)

	やってみたい、イ) 多様性、ウ) 地域の居場所づくり、を掲げている。 ②2024 年度から部活動を地域クラブへ移行している。地域クラブの登録団体数は、文化芸術 48 団体、スポーツ関係 69 団体であり、今後も拡大をめざしている。 ③地域クラブへ参加のため、練習時間は決まっておらず、送迎、活動費などは、保護者負担となっている。現在、保護者負担の軽減や登録団体への財政支援など検討している ④地域クラブへ参加していない生徒の居場所づくりとして『しゅうなんコミュニティクラブ』を各中学校に設置し、地域住民や大学生などと連携し、生徒主体で運営している。 ◎両自治体において、ア) 全ての学校で、イ) 同じ時間帯に、ウ) 負担の無いクラブ活動という、従来の規定路線から脱却している。三次市の生徒数、クラブ数、ニーズ、指導者の確保など、改めて検証する必要がある。その中で、スクールバスを利用した美祢市方式、部活動を全て地域クラブへ移行した周南方式を参考に、三次市として部活動を検討すべきではないか。
--	--